

## <参考資料>

### 1 中部公設試験研究機関研究者表彰

(公財) 中部科学技術センターでは、中部地域（愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、石川、福井）の公設試験研究機関に所属する研究者を対象として、研究活動意欲の高揚を図り、地域産業の発展に寄与することを目的として、産業技術の研究に顕著な業績を上げた研究功績者と業界への技術指導者として永年にわたり多大な貢献をした指導功労者の表彰を毎年行っている。

令和3年度：11名受賞、令和2年度：10名受賞 令和元年度：7名受賞

<参考：(公財) 中部科学技術センター 中部公設試験研究機関研究者表彰

[http://www.cstc.or.jp/business/cstc\\_kousetsu\\_hyosho.php](http://www.cstc.or.jp/business/cstc_kousetsu_hyosho.php)>

### 2 令和3年度中部公設試験研究機関研究者表彰式について

日時：令和3年9月24日（金）13：10～14：35

内容：表彰式、受賞講演（リモート方式）

### 3 県工業技術センターの受賞者

#### ①中部科学技術センター会長賞〔研究功績者〕

福井県工業技術センター

化学・繊維部長 中津 美智代（なかつ みちよ）

業績の名称：ステンレス鋼の腐食性研究と大気腐食モニタリング  
センサの開発研究

研究業績概要：

県内の繊維業界において発生した液流染色機の腐食事例や製造工程の課題となっていた織機（ウォータージェットルーム）部品のヘルドの腐食事例に対する原因調査研究に取り組み、電気化学理論に基づく解析からこれらの腐食メカニズムを明らかにし、腐食発生に対する金属材料と使用環境の可使用条件を確立し防食対策を講じた。繊維業界においては、これまで未解決であった織機、染色機の主要生産設備における同様の腐食を事前に未然に防ぐことが可能となり、産地の生産性向上に大きく貢献した。

そして、大気環境の腐食性を評価する「大気腐食モニタリングセンサ」の研究に着手し、本県の大気腐食特性を明らかにするとともに、新型センサおよびセンサの新用途開発に取り組み、センサの製造、性能評価、計測・解析技術に関する研究成果を県内企業に技術移転した。また、2019年にJIS Z 2384「大気腐食モニタリングセンサ」の制定にて、JIS原案作成委員会に参画し、原案作成に貢献した。



## ②中部科学技術センター会長賞 [指導功労者]

福井県工業技術センター

新産業創出研究部 総括研究員 末定 新治 (すえさだ しんじ)

業績の名称：地場産業に対する電子材料・デバイスへの応用展開の  
指導・支援

指導業績概要：

福井県の異分野の企業が電子材料やデバイス分野への新規進出のための指導および支援を行ってきた。特に本県の地場産業である繊維業界に対しては、電磁波シールド材の性能評価技術、炭素繊維織物のアンテナ材料としての信頼性向上、組紐技術を応用した導波管の開発等、材料の電氣的評価測定および電子材料やデバイス分野への展開に関して長年様々な指導を行っており、本県繊維業界の産業資材分野への進出に大きく貢献した。

